

食品中の放射性物質検査結果（令和3年度）

平成23年3月に東日本大震災による福島第一原子力発電所事故がおき、市民の健康影響への不安に応え市内流通食品の安全・安心を確保するため、同年7月から食品中の放射性物質検査を行っています。

令和3年度に当所で行った食品の検査結果は表1～表3のとおりです。439検体中3検体（米（玄米）、しいたけ（生）及びたけのこ各1検体）から放射性セシウム（Cs）が検出されましたが、基準値*を超えたものではありませんでした。

- * 放射性 Cs の基準値（Cs-134 と Cs-137 の合計）
乳児用食品：50Bq/kg、牛乳：50Bq/kg、一般食品：100Bq/kg
（厚生労働省告示第129号、130号 平成24年3月15日）

表1 検体の種類及び数並びに放射性Cs検出検体数

検体の種類	説明	検査検体数	放射性Cs検出検体数
市内産農産物	横浜市内産の農産物	15	3
市内産水産物	横浜市内漁港水揚げの魚介類	60	0
市内産畜産物	横浜市内産の原乳	4	0
市内量販店流通食品	横浜市内で流通している食品	12	0
小学校給食	米、麦及び牛乳	348	0
合計		439	3

表2 検体の内訳

検体の種類	品名（〔 〕内は検体数）
市内産農産物	えだまめ〔1〕、かき〔1〕、かぶ〔1〕、キャベツ〔1〕、きゅうり〔1〕、こまつな〔1〕、しいたけ（生）〔1〕、たけのこ〔1〕、トマト〔1〕、日本なし〔1〕、なす〔1〕、にんじん〔1〕、ばれいしょ〔1〕、ぶどう〔1〕、米（玄米）〔1〕
市内産水産物	アカカマス〔1〕、カナガシラ〔5〕、カマス〔3〕、キチヌ（キビレ）〔1〕、クロダイ〔4〕、コショウダイ〔1〕、シログチ〔13〕、スズキ〔10〕、タチウオ〔11〕、チダイ〔1〕、ヒラメ〔2〕、ホウボウ〔1〕、マアジ〔2〕、マコガレイ〔1〕、ムシガレイ〔2〕、メイタガレイ〔2〕
市内産畜産物	原乳〔4〕
市内量販店流通食品	牛肉〔4〕、牛乳〔1〕、そば粉〔1〕、豆腐〔1〕、乳児用食品〔3〕、干しいも〔1〕、ミルク（液体）〔1〕
小学校給食	牛乳〔172〕、米（精米）〔95〕、米（胚芽米）〔33〕、麦〔48〕

表3 放射性Cs検出検体の検査結果

品名	検体数 (Cs検出数)	検出値(Bq/kg)		
		Cs-134	Cs-137	Cs合計
米（玄米）	1(1)	不検出(<0.748)	1.62	1.6
しいたけ（生）	1(1)	不検出(<0.757)	1.85	1.9
たけのこ	1(1)	不検出(<0.686)	2.53	2.5

不検出の（ ）内数値は、検出限界値

平成23年度～令和2年度の市内産農水産物の放射性物質検出状況について、横浜市衛生研究所年報 第60号（令和2年度）に掲載しています。下記 URL をご参照ください。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryō/eiken/gaiyo/annualreport.files/annualreport60.pdf>